

☆ パブコメ意見による本編修正箇所(案) ☆

No	ページ	意見の概要	修正の概要
1	4	「平成3年」他の変更年と「年」を合わせたほうが見栄えが良いと思う。	インデントを揃える。
2	9	●人口減少・少子化高齢化の進行● 次の●持続可能な～●まで行間が空きすぎていて全体的なバランスに欠ける。	文章の幅を狭くして行間を埋め、グラフをバランス良く配置する。
3	9	●都市農地の位置づけ● 令和4年3月に策定された「千葉県農林水産業振興計画」にも触れてみてはいかがか。	当該計画の情報を追加する。
4	10	●交通利便性向上による企業立地のポテンシャルの高まり● 千葉県の、交通利便性を活かした企業誘致の具体的事例を加えてはいかがか。10ページは紙面が余っていることから、さまざまな具体例が掲載されることにより、市民の意識向上に繋がるのではないかと考える。	空白を埋める形で、千葉県都市づくりビジョンの内容をトピックとして加える。
5	13	土地利用現況図 周辺の市名が記載されているものの、駅名も地名も書いておらず、場所の把握が著しく困難であるから、駅名や路線名や地名を明記すべきである。他の図も同様である。	駅名を明記する。
6	20	市街化調整区域での建築と市街化区域での建築との違いを明記すべき。	市街化調整区域は、原則として、建物の建築は制限されていますが、一定の基準を満たした上で、建築が認められている旨を追記する。(P58にも追記)
7	21	この大事な部分を全く理解されていない方が多いと考えます。もっと大きく目立つように分かりやすく書いてみてはいかがか。	目立つように修正する。
8	24	表記の変更。 表題が財政となっていますが、その内容から「財政(税金)」や「税金の推移」などの表記が妥当であると考えます。	「財政」→「財政(税金)」に修正する。
9	25	図の凡例が解説されていないから、解説すべきである。	P2、P25の図に凡例を明記する。
10	29	⑦串崎新田地区 私は串崎新田地区に住み働いているが、北千葉道路に反対しているところ、「都市計画道路(整備状況)」の「用地確保」の色と、「土地利用現況」の「畑」の色が同じ色である。これは、畑は全て用地確保済みであることを意味しており、極めて問題である。畑は、確保済みの用地ではないから、修正すべきである。	「地区別概況図」(P26～P31)及び「地区別土地利用方針図」(P47～P52)の図中、都市計画道路整備状況の着色を、「完了」「事業中」「未整備」にて色分けをする。(P19の凡例と同様。用地確保は完了へ)
11	40	調査対象とした11企業をなぜ、どのように選んだか、理由を明示すべきである。特に市内、県内事業者ではない場合、その理由も加えてほしい。	企業選定理由を追記する。
12	45	【方針3】立地ポテンシャルを生かした計画的な土地利用 策定主体の明記。ガイドラインの策定主体が不明確です。「今後、市が定める」などの文言が必要と考えます。	ガイドライン策定主体として、「今後、市が定める」を追記する。
13	50	⑦串崎新田地区 「鎌ヶ谷市との境に位置する」とあるが、鎌ヶ谷市だけではなく、市川市との境にも位置しているから、市川市との境にも位置していることをあえて伏せた理由・目的を明らかにすべきである。	「市川市との境に」を追記する。

※文言の追記、軽微な修正…4件(No.7, 11, 12, 13) 図の修正等の見やすさの工夫…6件(No.1, 2, 5, 8, 9, 10) 情報の追加等…3件(No.3, 4, 6)